

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	湛水防除施設維持管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	06	01	05	01	01
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課				
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	農地	意図	台風等の降雨時の水害から回避できるようになる。
事業内容	農地の保全と地域住民の被災回避のために流域内の内水排除を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	野田市南部排水機場施設、手賀沼土地改良施設の維持管理費について関係自治体の実益面積に応じた負担率が、施設整備時の協定で設定されている。（負担率の変更はない）			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	水稲耕作地における水害発生件数	0	0	0	件	↓↓↓	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ◆各土地改良施設の工事等の詳細内容については、本市の負担率が低いこともあり、精査を行っていないが、定期的に国の会計検査が行われていることから、工事内容については、適切に行われているものと判断する。 本市の負担率 ・手賀沼土地改良施設：3.5% ・野田市南部排水機場施設：8.2%	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,126,622	2,985,770	2,554,251				
事業費(b)(円)		2,959,572	1,844,730	1,433,611				
うち一般財源		2,959,572	1,844,730	1,433,611				
職員給与費(c)(円)		1,167,050	1,141,040	1,120,640				
人役・職員(人)		0.17	0.17	0.17				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	特に改善事項はない。（各施設の維持管理に要する応分の負担をする。）	③取組における課題(Check)	流域構成団体としての負担金支出の定期的な事務処理となっており、各施設の維持管理に要する応分の負担をする。
②H30に実施した取組(Do)	特になし。（各施設の維持管理に要する応分の負担をする。）	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	特になし。（各施設の維持管理に要する応分の負担をする。）